

各企業の社会貢献

宮坂建設工業が清掃奉仕

市民憩いの場を丁寧

地域への恩返し気持ち込め40人



はじめに宇佐美恭広専務がいさつ。「建設業は地域住民の協力のもと、仕事をらせていただいているので、恩返しのもりで丁寧な作業をしてほし

【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は十三日、地域貢献の一環として、本社近隣にある帯広中央公園と周辺の歩道で落ち葉清掃を行った。社員四十人が参加。熊手やスコップなどを使って、市民の憩いの場の公園に散らばる落ち葉を回収した。写真。

「清掃では社員が熊手やスコップなどを使い、「雪かき」をするような要領で効率よく落ち葉を回収。風で車道にまで飛ばされていた

同社は、中央公園周辺に事務所を構える北海道電力などとともに「ぐるっと親睦会」という名称の会をつくり、二月月に一回程度ボランティアで中央公園を清掃。同社が単独で清掃するのは今回が初めてで、社員四十人が公園や周辺の歩道に散らばる落ち葉を回収し

落ち葉も丁寧に拾い集め、用意したゴミ袋に詰めていった。

清掃後には、公園や周辺歩道が見違えるほどすっきりとした状態に。宇佐美専務は「単独で清掃するのは今回が初めてだが、今後も

親睦会の清掃とともに、単独の清掃も積極的に行っていきたい」と話していた。

落ち葉拾って公園をきれいに

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は13日、本社近くの中央公園で清掃ボランティアをした。各部署か



ら参加した40人が、歩行者通路や外周部の落ち葉を拾った。写真。

中央公園の緑化事業の一環として取り組んだ。宇佐美恭広専務が「同社単独での清掃は初めて。市民に喜んでもらえるようボランティア活動を広げたい」と呼び掛けた後、作業を開始した。

道西3条通沿いを中心に、レーキやスコップで落ち葉を集めて袋に詰め、2辺四方形のかごに移し替えた。葉が大きいカシワの木が多く、かごはすぐにいっぱいとなった。

集めた落ち葉は、市の勧めにより愛国にある牧場で有効活用する。